



ツアー感想文大特集

サイパンツアー感想文集

「暖かくて、吹いてて、サイコー！！」

台湾ツアー感想文集

「台湾の魅力は、ウインドと飯」

Information Campaign Data base



SAIPAN TOUR REPORT

サイパンツアー体験手記

2005年の全6週間にわたるサイパンツアーも無事に終了。多くの方に参加していただき、多くの方がサイパンを満喫し、上達したことでしょ。日本での1年分にもなるのではないかというほどのウインド三昧は、誰もが社会復帰しにくくなるほどのものではないでしょうか。このツアーに参加してくれた方々に感想文を書いていたいただきました。

サイパンツアーに参加して 佐藤 早苗 (逗子ウインドサーフスクール・ベーシックコース)

ウインドを始めて半年、ようやく黄色のボードに慣れてきた私ですが、大胆にも「プレーニングも夢じゃないかも!？」と意気込みサイパンツアーに1週間初参加してきました。

初日、逗子では経験したことのない突風の中、まずはビーチスタートの特訓です。ベテランさん達はいとも簡単にやってるのにこれが何とできなくて悔しい…。何で〜?とコツがつかめるまで何度も何度も練習。気がつけばセイル担いで一日中海の中にいる私。トホホ…。早くボードの上に乗りたいと焦る中、初めて体がフワッと浮いた瞬間はとても感動しました。



さあ次の課題はハーネスかけての走行です。「お飾り」のままにしたいくないと意気込みますが、突風でコントロール不能な状態、派手に吹っ飛ぶ姿を想像すると顔が強ばってきます。でも覚悟してチャレンジ!!案の定飛ばされ柔道だったら一本決めの様な転び方。海だから痛くなくてよかったよお～。そんな中「な、なんと、セイルがこんなに軽いなって～」と初めての感覚あり。ウインドサーフィンってこういうスポーツなんだあ～と感動しました(今まではなんだった?)。

ウインドを毎日できる環境が嬉しくて、そしてとても貴重だから気づけば朝から夕方まで昼休みももったいないと感じるくらい夢中に練習しました。そして夜は大騒ぎ?テキーラで記憶飛ばしても二日酔いでも休まず練習。なんたってベーシックのメンバーの気合いすごいですから…。

とうとうラストの日。ベーシックの気合いに負け?おかつ先生早起きしてくれて早朝スクール開始です。おかげで最後の課題の前足ストラップ入りはぎりぎり達成しました。

一週間はほんとにあっという間でした。プレーニングはできませんでしたが、南の島の青い海でウインドを一日中楽しめたことは夢のようでした。そして「できなかったこと」が「できるようになる」感動を味わっちゃったからウインドが益々楽しくなってきました。もうかなりやみつきです!

最後に、今回でこの悪い私に根気よく指導してくださいましたイントラのみなさまありがとうございました。そしてこれからもよろしく願いいたします。

まさに天国 藤田 悠人 (逗子ウインドサーフスクール・メンバーズクラス)

「サイパンとはこの世の天国である」と言う格言があります。嘘です。でもサイパン=天国というのは本当です。サイパンの環境がそうさせるのか、イントラの方々のお力なのか(おそらく両方なのですが)サイパンには「急成長」という魔法が存在するようです。

今回の2週間のツアー、自分はサイパンに来るのは2年ぶり、そもそもウインドが約半年ぶりという体たらくつぶりながら、無謀にもレイルジャイブをテーマに参加しました。

逗子ではもう長いこと練習していながら、一向に完成しないテーマです。毎日朝から夕方まで、余りの嬉しさと南国の開放感も手伝って飽きることなく夢中で練習。14日間の新しい発見があり、上達があり、何度繰り返しても出来ない悔しい思いがあり…。そうしてツアーを終えて蓋を開けてみてびっくり。何とレイルジャイブだけではなく、レイダウンジャイブまで手を出せるくらいになってしまいました。恐るべしサイパン・マジック!恐るべしイントラの皆様!また、サイパンの魅力は夜にも潜んでいます。それは普段なかなかお会いできない方々と杯を酌み交わせること!

自分は逗子会館ですが、ヘイズや江ノ島、更に言えば兵庫県や仙台市からの方もいらっしゃいました。毎晩バーに通い、飲んで騒いで、

反省したくなるほど遊んでいました(笑)。

ツアーの2週間は日本の2日間くらいなんじゃないかと思うほど毎日が楽しく、まさに天国。あ～!今すぐにサイパンに行きたい!!





常夏・フラット・遠浅・テキーラ(?)がサイバンの魅力。真冬の寒さが身にしみる頃、どうしてもサイバンでプレーニングしたくなる。

最高すぎるくらいの思い出

福江 満子 (フェザーファクトリー)

待ちに待ったサイバン! 空港を出ると真冬の日本からは想像できない世界が広がっていた。期待で胸がいっぱいだった。そんなサイバンでの10日間は「初めて」なことばかりだった。体験したことのない風の中でのウインドサーフィン、そしてショートボードデビュー、初テキーラ、二日酔い...そして忘れてならないのがこれ! 初プレーニング!! とっても気持ちよくなって、速くて。

フェザーメンバーの仲間にも何度も言われた、「サイバンでプレーニング出来るようになれば、それが最高の思い出になるから」って。まさにそう! 最高すぎるくらいの思い出になった。まだウインドをはじめて1年も経ってないけど、ウインドやってて本当によかったって心底思えた。

そして、このサイバンツアーではウインド以外のことも沢山学んだ。フェザーメンバー以外のウインドサーファーと出会って、一緒に飲んだり、語ったり、遊んだりして凄く感じたことは、ウインドっていう共通点だけですぐに仲良くなれるし、輪の中に溶け込んでいけるってこと。改めて、ウインドの凄さみたいなものが見えた気がする。と同時に、ウインド仲間っていいなと思った。サイバンでの1日1日、一瞬一瞬が本当に楽しくて、こんなに充実した10日間を過ごしたことはないと思う。本当に本当にきてよかった。そして、このツアーで改めてウインドの楽しさを知れてよかった。



SAIPAN TOUR REPORT

サイパンツアー体験手記

ダックジャイブとレイダウン

大矢 勝行（フェザーファクトリー）

俺にとって初めての海外ツアー参加。しかも3週間というプチロングステイ。ウインド仲間からは「絶対、風吹かねーよ」という、ひがみにも似た声に見送られた。確かに3週間も「毎日ウインドばかりしてたら身体がもたないな」と出発前は考えていた。だからツアーの間に必ず休養日を設けざるを得ないから本も7,8冊持って行ったが、結果としてこれらのものは単なる重い荷物でしかなかった。毎日飽きることなくウインドに明け暮れた。3週間なんてあっという間だった。暖かい風、白い砂浜、どこまで行ってもビーチスタートで上げられる海は、練習するのに最適なコンディションだった。

今ツアーで最も目標としていたのは「ダックジャイブ」と「レイダウンジャイブ」。逗子で「レイルジャイブ」しかできなかった俺はこれらをマスターするまでは逗子には帰らないつもりでいた。だから俺の目標とことんまで付き合ってくれたインストラクターの方々（特に塚ちゃんも含む）には大変感謝している。おかげ様でなんとか完成に限りなく近いものができるようになった。FF以外のスクール生と知り合えたことも大きな収穫になった。自然に交友が芽生え、楽しい夜を過ごすことができたことも「風の繋がり」に改めて感謝したい。

寒い日本に帰ってきた。逗子の海に出る時、サイパンに行く前と比べてみた。自分のウインドスキルだけでなく、今まで知り合えていなかった多くのウインドサーファーと風や波のすばらしさを同じ海で共感していることが一番変わったことだと思った。



夜の部担当？

荻野 誠一

(セイルボーダーズ江ノ島)

今回初サイパンツアーに参加しました。サイパンは暖かく、良く晴れて、風も吹き、最高のツアーになりました。風は普段の江ノ島では、出艇出来ないような、強風が吹き荒れる中でのウインドサーフィンは新しいこと尽くでした。

まず、第1ステップはビーチスタートに挑戦!!個人的には1番覚えて帰らなかったことの1つだったのでかなり気合が入っていました。しかし、サイパンの海面の流れと言うものを、初めて体験し苦労しました。徐々にサイパンのコンディションに慣れてきて、徐々に成功率も上がっていききました。

しかし、サイパン暑いです。海パン1つしか持っていかなかった私は、日焼けに悩まされましたが、スタッフの塚田さんにタッパーを借りたおかげで助かりました。最後まで借りっぱなしになってしまいました。本当にありがとうございました。来年のサイパンは完全装備で出発しようと思います。

何より今回サイパンで1番驚いたのは、飲みに行く機会の多さでした。まさかこんなに毎晩飲みに行くとは思っていませんでした。8日間サイパンに行って6日くらいは夜の記憶がありませんでした。初めてのテキーラをまさかこんなに飲むとは…。サイパン恐るべしです。記憶が無くなり、誕生日でもないのにバンドにハッピーバースデーを歌わせたしまったこともあったようです。かなりノリノリだった、みたいです。

サイパンレポート

篠崎 このみ (セイルボーダーズ江ノ島)

2005年1月26日、雪のちらつく成田を14日間分のワクワクを乗せて旅立ちました。開かない扉は開くのだろうか?この先の景色は?そんな期待と一抹の不安を抱いてサイパン空港に降り立った私たちを迎えてくれたのは、白い砂浜、エメラルドグリーンの海から水平線に連なる紺碧というにふさわしい深い青。そして真っ黒に日焼けした現地スタッフの暖かいもてなしでした。

最初の2日間は、これがサイパン!納得! という好意的なウエルカムウインド。余裕で楽しむのもつかの間、吹かないこと4日間!!生あくびを殺しながら、こんな南国のトロピカル休暇を楽しめないウイ



後でレポートを見たらビックリしました。

なんだか、レポートでは夜の部担当みたいになっていましたが、その後、ウインドサーフィンもしっかり楽しんで、ビーチスタートはかなりの確立で上がるようになり、その後、両足も入りプレッシングも出来ました。昼も夜もとても楽しいツアーになりました。また来年も参加したいです。



ンド根性が悲しい…。

でも吹きました!7日目からは風がグングン上がり始め、9日目をピークに最後まで吹き続き、過酷にも強化合宿という言葉ピッタリのド根性物語に、お定まりのビーチスタート。胸まで浸かっての練習に明け暮れました。出れば出たで風を目一杯入れて風下に暴走。自己最高記録更新??と、加藤先生のきつい1言。でも、7日間の強化訓練を加藤先生の確信に満ちた導き、鉄兵先生の優しいサポート、ヒロ先生の驚くほどの分析力の丁寧な解析や指導のおかげで魚から鳥へ……………!!!!!!

楽しい2週間でした。

ずっと何かと優しく面倒を見てくださった中村先生。新しい世界を見せてくださった荒木先生。そして自ら300m説教を誇る中澤先生…。ジャイブエクササイズ続けてますよ…。そしてこの地で知り合った新しい仲間達のおかげで、実りの多い充実した日々を過ごすことが出来ました。

ありがとう皆さん! ありがとうサイパンの海と風。



TAIWAN TOUR REPORT

台湾ツア一体験手記

2004年の11月に初めて行われた「台湾ツアー」。台北から車で約1時間の距離にある竹南(チュナン)は、膝腰からロゴハイ位まで立つ波とサイドショアの風に恵まれるゲレンデで

フロントライディングのイメージ作り

岸浪 真也 (逗子ウインドサーフスクール)

台湾でウインドができるということを知ったのは某雑誌の記事でした。最初はイメージがピンと来ませんでした。その雑誌の写真には確かに魅力的な波とライダーのウェーブライディングがおさめられていました。そして、そこは僕のウインドに対する要求が全て備わっていたポイントでした。僕は仕事柄、通常日に一週間休日をとるのが難しいため、マウイやバハ等の長期のウェーブトリップはほぼ行けない状況でした。また、前からスタボーサイドでガンガンに波が立つ所に行きたいと思っていましたが、前述の理由から、御前崎や大崎を攻める事に終始して満足していました。御前崎、大崎は確かに楽しいですが、御前崎のロングは上級者が多く波を取らせてもらえず、菊川・三浜だとジャンクなコンディションであるため波を見極めるのが難しい状況、大崎はリーフブレイクで失敗したときのリスクを考えるとマイチ思い切って攻める事が出来ませんでした。

台湾(竹南)はマウイやサイパンのようなトロピカルな雰囲気こそありませんが、そのコンディションはサンドブレイクでセル4.0台、波はセットで頭~マストサイズ。スタボーサイドでキマった時の御前崎に似ているので結構ハードですが、波は意外とトロク、セットも見やすい。波面も選ぶとツルツル。そして何よりも人が少ない!(このコンディションなら日本なら100人は出ているゲレンデをほぼ10人で独占出来ます。)

僕は今回、フロントライディングで波のトップから降りて確実に狙った所に行き、ボトムターンからリップングまでの一連の動作を身に付けたいというテーマを持って台湾トリップに望みました。竹南は



波が見やすいので波取り放題、人が少ないので周囲のプレッシャーを感じる事無く思い切り何回もトライすることが出来ました。自分が日本のイロイロな制約のあるゲレンデでは少ししか試せなかったことを思い切り試すことが出来ました。まだまだ課題は多いですが、自分の体の中にフロントライディングのイメージを確実にすり込むことが出来、日本に戻ってきて常にもこのイメージを目指して波に乗ることにしています。ただ午後になって潮が引いてくると、遠浅となり延々と続くショアブレイクをクリアしないとイケないためかなりシビアな状況になります。ブレイクも早くなるため、この辺は冷静に状況を見極め、波乗りよりジャンプの練習に切り換える、又はウェーティングする等の状況判断も大切だと感じました。

そして日本からフライト時間約3時間。台北空港から竹南まで1.5時間というアクセスの良さ。だから、休日に2~3日の休暇をプラスすれば3泊4日でかなりの確率でウェーブ出来ます!しかもマウイ・サイパン等に比べて安い!!!

また、本当に何を食べても美味しい食べ物も最高でした。(ウインドしななければ確実に太っていたでしょう。)そして竹南ポイントのトニー&サニーの暖かいおもてなし。台湾ウェーブトリップはこれからの自分のライフワークにしたいぐらいで、全てが大満足でした。



台湾海峡、波高し

笠原 一朗

(逗子ウインドサーフスクール)

「う……、で、出られん。どうしても三発目のビーチブレイクを超えられん……」

11月の台湾ツアーで風が吹き上がった第三日目のことです。

海を目の前にして「ちょっとハード?」ぐらいにナメテかかり、いきなり強烈な波にグシャグシャにされてしまいました。それでも最初のうちは「このゲレンデ、初めてだし」とか「道具にもまだ慣れてないし」とかなんとかごまかしていたのですが、3回、4回と竹南独特のビーチブレイクにやられて浜に打ち上げられ、道具を引きずって元の場所に戻る、ということを繰り返すとさすがに嫌でもわかります。

「俺のウインド、通用しない。」

ウインドは上手い方だと思ってました。記憶が確かならば、私が会員になったのはツージーこと辻井先生がスクールのスタッフになったその年でしたから、ウインド歴は10数年になります。(辻井さんは昔から素直でいい人でした。)

しかし、キャリアは長くても、夏は道が混む、浜が狭いと言っては休会し、冬は寒いと11月から翌3月まで休会し、結局逗子でウインドするのは一年間で5ヶ月だけ。その代わりに参加していたツアーも夏のマウイと秋の沖縄という、風が吹いても「平ら」な海面ば



かり。ウェイブの道具も一式持っているのに、御前崎はおろか「大西」の海に出たこともありませんでした。要は「リゾートセーラー」だったわけですね。

スイマセン、私、甘かったです。竹南の海で目が覚めました。自分を拒んだその波に嬉嬉として乗り、思う存分楽しんでいる上級者を見て、自分が下手だということを思い知らされました。

なんということだ、あの波に乗れないなんて。ウインドが好きでこれまでも結構それなりにやってきたつもりです。しかし、何たる屈辱。「チクショ。」 私、久しぶりに「熱く」なりました。

もうこうなったら仕事なんてどうでもいい、と思ったわけではないですが、気が付けば有給休暇は既に無く、「欠勤」状態で臨んだ今年1月の台湾。行ってみればただただ寒く、風は無く、見事になまめにハズシてしまったわけですが、この半年間で2度の台湾ツアー。どちらも個人的にはいろいろ貴重な体験をさせてもらいました。ウインド的には悔しい思いが一杯ですが、この秋にでもリベンジするべく、今年寒い3月から逗子の海に出てみるつもりです。

ということでした。台湾は秋から春までの期間に風と波に恵まれるゲレンデです。感想文中にもあったように、僅か3時間半のフライトで到着してしまうため、出発日の夕方には海に出られるし、帰国日も昼過ぎまで乗っていられます。ましてやそれなりにハードなウェイブというカテゴリーですから、小一時間乗れば、かなり乗った気になれるもの。2005年も秋から冬に数回のツアーが催される予定ですので、ウェイブ好きなら、一度は行ってみるべきでしょうね。

下の写真は、左が基先生、右が中澤先生のボトムターン。こんな感じで乗れるようになれば一人前かな。



Information

ツアー情報

○2005～06年度・国内外ツアー予定

ツアー名	引率	日程
マウイ-1	霜山	07月08日(金)～07月17日(日)
マウイ-2	岩崎	08月06日(土)～08月14日(日)
マウイ-3	小林	08月19日(金)～08月27日(日)
マウイ-4	未定	09月16日(金)～09月27日(日)
九州(福岡～佐賀)	岩崎	09月30日(金)～10月10日(月)
マウイ-5	霜山	10月28日(金)～11月06日(日)
台湾-1	小林	11月09日(水)～11月13日(日)
ベトナム	岩崎	11月18日(金)～11月27日(日)
沖縄-1	中澤	12月02日(金)～12月04日(月)
台湾-2	未定	12月07日(水)～12月11日(日)
沖縄or台湾	未定	12月29日(木)～01月03日(火)
サイパン'06		01月11日(水)～02月28日(火)

※ツアー企画、ツアー日程、引率者など全て予定です。正確なツアー情報に関しては、上記情報を元に、HPなどで確認して下さい。

Campaign

ロゴマーク募集！！

逗子ウインドサーフスクールのイメージアップ等を図るために、ロゴマークを公募します。スクール・ウインドサーフィン・海のイメージにふさわしい「ロゴマーク」を作品して下さい。

応募方法●ロゴマークはA4サイズの白紙を使用し、15cm×15cm以内に表現。モノクロ表現の場合も成立するよう、考慮に入れて表現して下さい。作品は未発表でオリジナルの作品に限ります。e-mailもしくは郵送にて応募して下さい。

e-mailで応募する際のアドレス: school@j-wind.com

・添付ファイルは、以下のアプリケーションを使用して下さい。

Microsoft Powerpoint / Microsoft Word / Microsoft Excel / Adobe Illustrator

Adobe Photoshop(その他画像ファイルとする際はJPEG形式にして下さい)

郵送先: 〒249-0007 逗子市新宿1-3-5 逗子会館 逗子ウインドサーフスクール

・ロゴマーク1点に、住所・氏名(フリガナ)・電話番号を明記して下さい。

審査決定●選考委員会にて審査し、類似調査を経て決定させていただきます。

※切●2005年4月20日

発表●発表は2005年4月中を予定しています。採用者本人に直接通知します。

その他●必要に応じて、修正・補作して使用する場合がありますので、ご了承下さい。

賞品●採用させて頂いた作品に対して、「ウインド商品券=50,000円」をプレゼントいたします。

※採用作品の著作権・その他の知的所有権は「逗子ウインドサーフスクール」に属します。応募作品の返却はいたしません。

Data Base

逗子ウインドサーフスクール

〒249-0007 神奈川県逗子市新宿1-3-5 逗子会館内

TEL:046-873-2863 FAX:046-873-9901

フリーダイヤル:0120-71-1173(携帯可)

URL: <http://www.j-wind.com/zushi/>

e-mail: school@j-wind.com

フェザーファクトリー

〒249-0007 神奈川県逗子市新宿2-11-5

TEL:046-872-1899 FAX:046-872-1899

URL: <http://www.feather-factory.com>

e-mail: ff@feather-factory.com



セイルボーダーズ 江ノ島

〒251-0035 神奈川県藤沢市片瀬海岸1-12-7

TEL&FAX:0466-27-8118

URL: <http://www.sailboarders.jp>

e-mail: enoshima@sailboarders.jp



逗子レーシング

URL: <http://www.j-wind.com/racing/>

e-mail: racing@j-wind.com



逗子会館

〒249-0007 神奈川県逗子市新宿1-3-5

TEL:046-871-5903 FAX:046-871-5903

URL: <http://www.j-wind.com/zushi-kaikan/>

e-mail: kaikan@j-wind.com

CB SURFERS

〒249-0007 神奈川県逗子市新宿5-2-3

TEL:046-873-5225 FAX:046-873-5081

URL: <http://www.j-wind.com/CB/>

e-mail: cb@j-wind.com



セイルボーダーズ スタイル

〒251-0035 神奈川県鎌倉市腰越3-11-12

TEL&FAX:0467-32-7766

URL: <http://www.sailboarders.jp>

e-mail: style@sailboarders.jp

トラベルフィールド

〒251-0035 神奈川県逗子市新宿2-11-5

TEL:046-873-1859 FAX:046-873-1840

URL: <http://www.travel-field.jp>



ノーツ

〒249-0006 神奈川県逗子市逗子1-9-26

TEL:046-871-9199

URL: <http://www.j-wind.com/notus/>

e-mail: dai@j-wind.com



NPO 海岸倶楽部

〒249-0007 神奈川県逗子市新宿1-3-5 逗子会館内

URL: <http://npokaiganclub.ifdef.jp/>

e-mail: npo@j-wind.com

次号予告(逗子ウインドサーフスクール会報)

「あなたのプレーニングは〇〇km/h?」

「ロングセリングへの心構え」

「サングラスが必要なワケ」

などなどを予定しています。(内容は予告無く変更される可能性があります)

2005 vol.2は7月1日頃に発行予定です。

Windsurf News

〒249-0007

神奈川県逗子市新宿1-3-5 逗子会館

株式会社 ウインドプランニング 046-873-3354

平成17年4月1日発行